

七郷小学校からの報告

活動団体名： 七郷小学校 3年生

活動人数： 15人（教員1名）

取組時間： 総合的な学習の時間

調査内容 1回目：10月13日（金）高月町東物部 萬蔵館前  2回目：10月13日（金）高月町東物部 萬蔵館裏 
3回目：10月19日（木）唐川集落内の川（自治会館前） 

「七郷環境調査隊」として、東物部地区を流れる2つの川（前川・中川）と唐川地区を流れる赤川で水質調査と水生生物調査を行いました。

活動では生き物に詳しい外部講師の方に来ていただき、道具の使い方や水生生物の捕まえ方を教えていただきました。川に網やザルを入れ水生生物を採り、それをピンセットやスポイトなどを使って分類しました。子どもたちはザルで生き物を捕まえられと思っていたため、講師の先生がザルを使って簡単に水生生物を捕まえたことに驚いていました。名前がわからないものは講師の先生方に教えていただきました。講師の先生方のやり方を真似て、子どもたちは「似ているけれど少し形が違う」などよく観察して分類していきました。

最後に分類したものを表にまとめ、川の水質について知ることができました。子どもたちは、同じ川でもシジミが多い場所、貝が多い場所など違いがあることに気づきました。身近に



流れている川にこんなにもたくさんの水生生物がいることにとても驚いた様子でした。

調査員の感想

川にザルを入れて生き物を捕まえました。川にザルを入れて揺らすと生き物がたくさん捕れました。珍しいトンボのヤゴを見つけることができました。捕った水生生物を分けてみると、シジミが一番多くてびっくりしました。魚が多いと思っていたので意外でした。

捕まえた生き物たち

東物部地区の前川にはサワガニが多くいました。また、ドンコ、アブラボテ、フナ、オイカワ、カワムツなど魚が5種類もいました。唐川地区の赤川にはシジミ類が多くいました。また、アメリカザリガニやタニシ、ヌマエビ、スジエビ、ハグロトンボ、ギンヤンマなど指標生物以外の生物もたくさん見つけることができました。

調査のまとめ

前川の流れはゆるやかで、川底は、泥と砂でした。透明な水で、においも感じませんでした。CODの値は平均8でした。中川の流れは普通で、川底は泥や砂でした。透明な水で、においも感じませんでした。CODの値は前川と同じで平均8でした。しかし、指標生物としては、サワガニ、ヒロタカゲロウ類などきれいな水の中にいる生物が いる一方で、シジミ類やカワニナなど少し汚れている水の中にいる生物が多くいたことから、判定結果は、「Ⅱ少し汚れている」となりました。赤川でも同じで、見た目やにおいには感じませんが、ウズムシ類や2以外のトビケラ類などや、カワニナが多くいたことから判定結果は、「Ⅱ少し汚れている」となりました。



活動の様子

【10月13日 生き物の説明】



【10月13日 前川での活動】



【10月13日 前川での水生生物探し】



【10月13日 分類の様子①】



【10月13日 分類の様子②】



【10月19日 道具の説明】



【10月19日 水生生物の探し方】



【10月19日 赤川での活動】



【10月19日 分類の様子】

